

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	七沢森林公園		
所在地	厚木市七沢、小野、上古沢		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/nanasawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和63年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H21年4月1日～H27年3月31日	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
S	<p><管理運営等の状況> 七沢森林公園は、市街地に近いが、森林の中をゆっくり散歩できる緑豊かな里山公園である。約60種のシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、山里の暮らしが分かる「森の民話館」が人気の施設である。「ゼロエミッションへの取り組みによる植物管理」として、公園の間伐材を、土留柵や野外料理イベントの薪に用いている他、間伐材を炭焼窯で焼き、バーベキューの燃料として100%まかない、トイレの消臭剤にも活用している。炭焼時に出る木酢液は、園路に散布し、ヤマビル駆除に活用するなど、この公園独自の工夫を行っている。相当の努力をしており、大きな成果を上げている。また、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き等の努力によりヤマビル被害を軽減している点が評価できる。</p> <p><利用状況><利用者の満足度> 施設の魅力向上のため、提案に基づき植物管理や施設管理を精力的に行い、魅力的な運営を行っているため、利用者数は対目標比109%を確保して、A評価となった。また、利用者の満足度(上位2段階の割合)も81%と高く、A評価となった。</p> <p><収支状況> 老朽化が進む設備・備品等の点検を重点的に行い、積極的な修繕及び備品更新により利用者サービスの向上に努めたこと、徹底した節電の実施による経費の節減等に努めており、収支比率が105.1%となったことから、S評価となった。上記取り組みを実施しつつも良好な収支状況である。</p> <p><苦情・要望等><事故・不祥事等> 年間利用者数25万人に近い来園者がありながら、指定管理者に起因する苦情・要望・事故等がほとんどないことは特筆すべきものである。当公園の特色は、自然豊かな森林公園であることから、人工物が少なく、苦情の対象となる施設等が少ないこともあるが、指定管理者が利用者の視点に立った管理運営を日ごろから心がけ、業務を実施していることが伺われる。</p> <p><今後の方針等> 今後は、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理を継続するとともに、利用者のニーズに対応した地域イベントの実施を強化する等、更なる利用者の獲得に努めてもらいたい。</p> <p>以上のことを総合的に勘案し、総合評価をSとした。</p>
<p>S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要</p>	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	週に1回程度	なし
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無		指導・改善勧告等の内容
	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	なし

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>快適な利用環境の確保のための植物管理(高木管理、シャクナゲ管理等)を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シャクナゲ維持のため、日陰要因の木を伐採した。 ・枯葉や折枝の除去、倒木の恐れのある木の伐採をこまめに行っている。 ・広場等の芝刈りや園路沿いの草刈りを丁寧に行った。 	
<p>快適な利用環境の確保のための施設管理・安全点検を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常巡視(園内全域:毎日:公園職員) ・施設点検パトロール(園内全域:年1回:公園職員) ・重点点検(重点個所:随時:公園職員) ・遊具安全点検(遊具:月1回以上:公園職員) ・遊具定期点検(遊具:年1回:専門業者) ・各施設・法定点検(各施設:各施設ごと:公園職員または専門業者) 	<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点在した施設の管理が行き届いており、満足度が高い。 ・点検を着実に実施し、危険個所を発見した場合は迅速に対応しており、利用者の安全確保が図られている。 ・大雪の除雪作業や閉園等の広報に精力的に取り組んだ。 	
<p>ゼロエミッションへの取り組みによる植物管理 公園内の間伐材等を用いて、以下を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①園内整備への活用 ②間伐材を炭にして、バーベキューやトイレの消臭材等に活用 ③薪を使った野外料理イベントを開催 ④木酢液をヤマビル対策へ活用 ⑤落ち葉を集積し、カブトムシ等の生息場所の創出 	<p>園内の発生材はすべて園内処理しており、徹底した循環型管理が、公園独自の特色となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①森林整備により発生した間伐材は、職員が製材して土留め板、ベンチ、クラフト材料にし、枝はチップ化して整地に活用するなど、園内整備に使用している。 ②指定管理者が炭焼窯を作成し、炭を生産。園内バーベキューの燃料を100%まかなうとともに、トイレの消臭剤や土壌改良材としても活用している。 ③月2回、薪を用いた野外クッキングを実施している。 ④炭焼で生ずる木酢液を園路に散布し、ヤマビル対策に活用している。 ⑤堆肥ボックスを設置して、落ち葉を集約し、昆虫の生息場所を創出している。 	

<p>イベントや住民参加、ボランティア団体による協働の取り組み</p> <p>①森のまつり</p> <p>②里山保全、健康作り、自然体験、</p> <p>③自然音楽、文化継承</p> <p>④美化運動</p> <p>⑤七沢温泉郷と連携した、観光資源の創出。</p> <p>⑥その他</p>	<p>①11月3日に参加者約19,000名でお茶会、アルプホルン演奏、カクシ演奏やチェンソーアート、わらべうたあそび等を行い盛況であった。</p> <p>②里山保全の森林管理を、地元ボランティア団体と実施し、NPO団体との協働でルディックワーク教室等を実施した。</p> <p>③玉川アルプホルンクラブと協働で演奏会を実施し、民話の語りやわらべ唄による文化継承を実施した。</p> <p>④清掃・資源回収を地元の知的障害者施設と協働で実施した。</p> <p>⑤バーベキュー利用者などに七沢温泉郷の日帰入浴割引券を配布し、七沢温泉宿泊者には、バーベキュー割引券等を配布した。</p> <p>⑥陶芸、楽焼、盆栽、押し花、木工、クラフト、門松作り教室、自然観察会等多くの自主イベントの実施している。</p>	
<p>楽しく快適な利用環境の確保</p> <p>園路やおおやま広場などの芝生にもヤマビルの進入があるため、以下を実施する。</p> <p>①芝刈り等の徹底による乾燥状態の確保。</p> <p>②園路等への忌避剤の散布。</p> <p>③利用者に対する忌避剤の提供。</p> <p>④その他</p>	<p>次の対策により、ヤマビル被害が24年度の83名に対し、25年度は44名に、26年度は18人に減少した。</p> <p>①ヤマビルの生息しにくい乾燥状態を確保するため、芝刈り、草刈り、落ち葉掻きを徹底して行った。</p> <p>②園路等に、木酢液などのヤマビルの忌避剤を散布した。</p> <p>③ヤマビルの注意看板を設置し、13カ所に忌避剤として食塩と食酢を置いた。</p> <p>④指定管理者の全面的な協力の下、厚木土木事務所がヤマビル増加の原因であるシカとイノシシの捕獲を行い、H26年度は計23頭を捕獲した。</p>	
<p>利用促進のための広報の取り組み</p> <p>①ホームページの改編と更新</p> <p>②園内掲示板</p> <p>③パンフレット</p> <p>④厚木市公報</p> <p>⑤観光協会等との連携</p> <p>⑥緊急時位置確認板の設置</p>	<p>①ホームページを常時更新し、七沢森林公園サイトおよび公園協会サイトで公園情報や季節の見頃・見所情報をタイムリーに発信した。</p> <p>②園内の掲示板で、森のアトリエの体験案内やイベント情報などを掲示した。事務所前のホワイトボード等で、花や鳥など旬の自然がわかるようにした。</p> <p>③④⑤最新のパンフレット類を厚木市や地元観光協会等に配布した。</p> <p>⑥H25年度に新設した位置確認版(園内40箇所、緊急時の連絡先と位置が分かる)が利用者に好評で、役立っている。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
有料駐車場の運営	計画通り実施した。 H26年度実績(大型+普通車)39,607台
バーベキュー場の運営(売店付属)	計画通り実施した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2 H18-20平均	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	237,327	273,914	258,571	245,502
対前年度比			94.4%	94.9%
目標値	[目標値設定根拠]	225,000	225,000	225,000
目標達成率	平成18～20年度実績平均の95%	121.7%	114.9%	109.1%

[参考：最大利用可能人数]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由 _____

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	全般的に満足度が高いが、ヒルやバリアフリー対応についての不満がある。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数/配付数 101 / 101 = 100.0%

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	61	14	11	6	1	93	【満足】よく管理されきれい、スタッフが挨拶してくれるなど 【不満】ヒルがおりもっと注意喚起するべきなど
回答率	65.6%	15.1%	11.8%	6.5%	1.1%		
前年度の回答数	76	39	4	0	0	119	
回答率の対前年度比	103%	46%	352%	-	-		

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	72,650	78,970	79,220	81,507	※その他収入＝ 駐車場収入(自 主事業)
指定管理料	67,769	74,220	74,220	76,340	
利用料	0	0	0	0	
その他収入	4,223	4,162	4,193	4,352	
合計	71,992	78,382	78,413	80,692	
対前年度比		108.9%	100.0%	102.9%	
対計画比	99.1%	99.3%	99.0%	99.0%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	72,650	78,970	79,220	81,507	
支出額	71,626	75,990	76,883	76,775	
(内 納付金)	0	0	0	0	
対前年度比		106.1%	101.2%	99.9%	
対計画比	98.6%	96.2%	97.0%	94.2%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	0	0	0	0	
収支差額	366	2,392	1,530	3,917	
対前年度比		653.5%	63.9%	256.1%	
収入合計／支出合計の比率	100.5%	103.1%	102.0%	105.1%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
H26年6月～H27年3月	9,418	当公園の法面が崩落し隣接する民地入口道路に影響を与えるおそれがあるため、丸太柵を設置し安全を図るもの(999千円)ほか

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300,000 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入	0	
支出	0	
積立	0	

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		0 件		
		0 件		
職員対応		0 件		
		0 件		
事業内容		0 件		
		0 件		
その他		0 件		
		0 件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
4月22日	指定管理者の公用車を使用中、郵便局の建物にぶつかり一部を損壊。	運転者の不注意	指定管理者加入の保険で対応
11月2日	職員が清掃中に転倒し左ひじを打撲	職員の不注意	現場作業時の注意の徹底

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。